

安心して暮らせるまちに

毎日のように新聞やテレビで伝えられる

「交通事故」や「火災」のニュース。

なぜ事故はなくならないのでしょうか。

事故は「ちよつとした心がけ」で

防ぐことができるはず。

安心して暮らせるまちにするため

毎日の生活をちよつと見直しませんか？

交通安全

平成20年中に町内で発生した交通事故は188件。決して他人事ではありません。交通事故の被害者、加害者になる可能性は誰にでもあるのです。

交通事故の現状

平成20年中、伊予署管内では371件の交通事故が発生しました。死者は7人で、負傷者が457人でした。前年に比べると、事故の件数や負傷者が減っているのに対し、死者は増加しています。そして、交通事故の原因は、前方不注意105件、安全不確認63件、交差点安全進行違反34件で、全事故の55%を占めています。

平成20年の交通事故発生状況

	愛媛県		伊予署管内		松前町	
	発生(件)	前年比	発生(件)	前年比	発生(件)	前年比
発生(件)	9,179	-1,083	371	-70	188	-11
死者(人)	82	-18	7	+2	1	+1
傷者(人)	11,095	-1,298	457	-100	228	-21

事故原因のほとんどが一瞬の「不注意」

これらの事故の原因は明らかに一瞬の「不注意」です。ちよつと

した油断から事故は起こっているのです。

自動車、自転車、そして歩行者も、「車は来ないだろう」「相手が気付いて止まってくれるだろう」と自分の都合のいいように考えて行動し、事故にあってしまうのです。相手の立場に立ち、思いやりをもって行動することが大切です。

思いやりが事故を防ぐ

横断歩道で手を挙げる小学生。車が停止すると「ありがとうございました」と頭を下げます。それを見てドライバーも思わずニコリ。こんな光景は町内のいたるところで目にします。

周囲への思いやりをもつということは、自分の気持ちに余裕を持つということだけでなく、周囲の人にも気持ちよく通行できるようになり、事故を未然に防ぐことができるのです。